

科目名 (和/英)	学問・大学と社会—大学院キャリア形成論 ／Academic Study, University and Society —Career Design as Academic and Professional Person
科目名ナンバー	GECAR0502
担当者	飯吉弘子、大久保敦、西垣順子(大学教育研究センター) 他
形態/開講期/ 単位数/区分/ 教室	演習／夏季・春季休暇・後期期間等の断続的集中開講 (授業初回は夏季研修期間の9月14日予定・詳細はWEBポータルで提示) ／学術情報総合センター9階情報教育実習室2ほか
学習目標・ 到達目標	これからの社会における①研究者・②高度専門職業人・③大学教員・④知識基盤社会を支える多様な人材等に共通して求められる、(1)自分の専門分野の位置づけ(意義や倫理的側面等)に関する相対的認識の形成や、(2)異分野間や研究者以外の人間とのコミュニケーションや協働を行う力の育成、(3)プロジェクトマネジメントの経験や自らの研究を活かした職業人としての経験等の獲得や将来の大学教員としてのプレFD(Faculty Development)等、今後の自らのキャリア形成に資する認識の形成・能力の育成・経験の獲得等を行い、それら全体からの学びや気づきも踏まえて、自らのキャリア形成の考察を行う。
授業概要	これからの社会における①研究者・②高度専門職業人・③大学教員・④知識基盤社会を支える多様な人材等に共通して求められる、(1)自分の専門分野の位置づけ(意義や倫理的側面等)に関する相対的認識の形成や、(2)異分野間や研究者以外の人間とのコミュニケーションや協働を行う力の育成、(3)プロジェクトマネジメントの経験や自らの研究を活かした職業人としての経験等の獲得や将来の大学教員としてのプレFD(Faculty Development)等、今後の自らのキャリア形成に資する認識の形成・能力の育成・経験の獲得等を行い、それら全体からの学びや気づきも踏まえて、自らのキャリア形成の考察を行う。

授業内容・授業計画	
1 (1回分)	キャリアの多様性と求められる能力・資質に関する講義 (社会や企業等で求められるもの・大学教員として求められるものとその相違点・共通点、社会の変化と大学院生のおかれている状況の変化 etc.)
2 (3回分)	自らの研究に関する発表と相互理解の促進 (異なる分野の院生に対して、プレゼン発表。学会発表ではなく、分野外の院生に対して内容とおもしろさをどれだけ伝えられるか。およびそのプレゼンの振り返り・改善。)
3 (2回分)	学問・研究の位置づけ(意義や倫理的側面等)に関するディスカッション (自分たちの研究は、地球や世界・社会にどのような影響を与えるのか、どのように還元可能なのか等に関するディスカッション)
4 (1回分)	大学院を出て大学教員になるとは。(大学論・大学教員論・プレFD)
5 (1回分)	大学院を出て企業で働くとは。(ゲストスピーカー? :理系・文系)
6 (4回分)	TAや大学授業実習(プレFD)or企業人社会人インタビュー等の準備と実習 (可能な範囲で受講学生に合わせて設計予定。)
7 (3回分)	これまでの発表・ディスカッション・講義・実習の 振り返りのディスカッションと自らの今後のキャリア形成の考察

教科書	授業時に適宜資料配付をする。
参考書・資料	授業時に適宜資料配付をする。
事前・事後学習 の内容	毎回の授業時に、次回までの課題ワークシートの配布や作業・課題の指示を出すので、前回の授業の内容を復習しつつ(=事後学修)、それにもとづき事前学習を進め、課題を行い提出すること。
評価方法・ 評価基準	授業内外活動および最終レポート内容をそれぞれ60点・40点で評価し、総合60点以上を合格とする。
関連科目	特になし
受講者への コメント	自らや自らの研究を相対化しその意義を考えたり異分野の他者と意思疎通や協働を行ったりするために、授業において各受講生が、各専門分野を背景とした問題意識や論理的思考・問題解決プロセスを用いながら、授業内活動に積極参加してほしい。
オフィス・アワー	各授業後30分程度
連絡先	担当教員用グループメールアドレス:gsasusfaculty@ado.osaka-cu.ac.jp